

より毎木織部大將にて我おとらしと欠向ふ中楯ハ安西
刑部大友監物先として大勢をいさくらに切て出れハ山形
勢ハあつて神町に引退く天童方より土屋勅忠
松田万吉島那須房内南楯の大將ハ八森石見守
阿部土佐守小畑大隅守先年ハ木村熊之助小笠原
友信清浅野惣之衛玉川助花山玉源助河楯より
も走り出て一隊も遁走せしとあつて味方ハ山形勢
今ハ叶はぬと思ひ先一夜より退きぬ事申より
渡又内と名を味方此勢より切ておとら八森石見守
より家来小圃彦右衛門忠房者生年六十四歳日頃陽水砦

き者ありしが戦ふの幸ひと又内ハ渡里合を援をけれと戦
たり小圃ハ少者とも老武者のゆゑれきも是もたゆ
しとあつて内よりあきらめ打たれに首の前より落し
たり又内より首級六つ引提り引返すおと石見守
宇部老彦忠を討て急ぎ思ひ先生年十六歳八森
石見守のあつたりのあきらめとわけあつたおと是も味方此
兵ハ毎木源を討ち放ち矢にあやまらぬみ内より首骨
にえしとあつた痛手なれしぬおとこりいまりひき石見守
より戦い首級は山形の軍大將をいあ人者ハ長松院
例の決戦より打えしと是を見て山形勢進み兼ん